

# 第3学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 令和元年11月15日（金）第5教時  
児 童 木古内町立木古内小学校 3年1組21名  
指導者 教諭 佐藤 章

1 単元名 「再発見！！ わたしたちのまち」

2 単元について

(1) 単元の目標について

身の回りの「ひと」「もの」「こと」とかかわりながら、木古内のまち（地域）のよさ（魅力）について、課題を設定し、その解決に向けて取り組む活動を通して、自分たちの住むまち（地域）に関心をもち、よりよい姿について考えることができる。

(2) 単元の内容について

本単元は、学習指導要領の目標（2）「実社会や実生活の中から問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようとする。」に基づいて設定したものである。

身近なまち（地域）に目を向け、そのよさ（魅力）について、課題を設定する、情報を収集する、情報を整理・分析する、自分たちの考えを分かりやすくまとめ・表現する活動を通して、自分たちの住むまち（地域）をもっと知りたいという態度を育て、まち（地域）への愛着の心へつながっていきたい。

まち（地域）の文化や産業、風景などを取材・調査する活動を通して、それらを創り、育て、守っている人々の存在や思いにも気づかせ、自分たちもその一員として生活し、できることに取り組んでいこうとする態度を育てる一助としたい。

さらに、児童にとって、総合的な学習の時間の最初の取り組みになるので、今後につながる、学習の進め方を学ぶことができるよう、一連の学び方を習得させたい。特に、課題づくりと、それぞれの段階における交流活動を大切に扱い、総合的な学習の時間の目標に迫っていきたい。

まち（地域）の様子を知るべく1学期に行った「まちたんけん」やその後の絵地図づくりの経験、9月に実施したほうれん草農家や和牛農家の見学等とも関連付けながら、自分の課題について、より深く理解できるよう指導にあたっていきたい。また、国語の「話し合って、みんなの考えをまとめよう」「調べて報告しよう」等の学習にも生かしていきたい。

※ 本単元の学習内容は、社会科「わたしたちの大好きなまち」「働く人とわたしたちのくらし」の単元と密接な関連がある。

(3) 児童の実態

学習全般に対して興味・関心が高く、意欲的に活動する子が多い。また、自分の考えをみんなに伝えようとする積極性も見られる。その一方で、他者の発言に耳を傾け、自分の考えと比べることは苦手である。自分が発言できることに満足し、グループやクラス全体で一つの課題を深く追求する学習活動には至っていない。さらに、伝え方にも課題が残る。声の大きさや話す速さなどの基本的な事柄を始め、相手に分かりやすく伝えるために言葉を選んだり、手段を考えたりすることが身についているとはまだ言えない。

1学期の社会では、2年時の生活の学習経験も生かし、自分たちの身近なまちをたんけんした。目の前の事象～まちの施設や商店、自然等についてとらえることはできるが、その特徴やよさ、それらにかかわる人々等、まち（地域）を意識するレベルにまでは達していない。

そこで、活動を充実させ、学習を深めさせるために、児童の学習の成果を随時掲示し、それを互いに評価し合うことで自分たちの学びのよさ、成長に気づかせたいと考えている。

#### (4) 指導について

《視点1》追求の必然性を生む課題を設定する。

- ・「まちのよさ（魅力）」に関するアンケート（「木古内町のここがスゴい！」）を実施し、児童の意識を調べる。
- ・2年時の生活のまちの施設や道の駅等のたんけん、社会のまちたんけん等の経験も踏まえ、「自分ごと」ととらえられるような学習の展開・発問を工夫する。
- ・これまで撮りためた写真の活用。

《視点2》深まりを実感できる交流の場を設定する。

- ・課題設定、情報の整理・分析、まとめ・表現の各場面について、視点を明確にした話し合いのポイントを提示し、自分や友だちの考えのよさを確認できるような手立てを講じる。

《視点3》自己の高まりを実感できる振り返りの場を設定する。

- ・学習の過程のさまざまな場面を掲示し、自分たちの学びの様子や成長を振り返ることができるような工夫をする。

### 3 単元の計画

次	主な学習活動（児童の問い合わせ・思い）	評価の観点・評価方法
1 次 4 時 間	1 「木古内のここがスゴい！」は? ○事前のアンケートを実施し、児童の意識を把握する。 ○単元のねらいを知る。 「まちのよさ（魅力）を知る」 →「まちを好きになる」 2 木古内のまちのよさ（魅力）って何だろう? ○「ここがスゴい！」のアンケート結果を提示し、ウェビングを通して、木古内のまちについてのイメージを広げる。 ○「もっとくわしく知りたい」という思いから課題を設定する。	【学び方やものの考え方】 木古内のまちに关心をもち、そのよさ（魅力）を知り紹介していく活動について、学習計画を立て、見通しをもって取り組もうとしている。 (観察・ワークシートの記述)
2 次 1 2 時 間	3 まちのよさ（魅力）を見つけよう。 ○課題ごとにグループをつくる。 ○自分たちで選んだ場所・施設を見学する（課題解決）の計画を立てる。 ○実際の取材活動（「ひと」「もの」「こと」とのかかわり）。	【課題を解決する力】 まちのよさ（魅力）は何かを意識しながら活動に取り組もうとしている。 (観察・ワークシートの記述) 【主体的・創造的态度】 まちのよさ（魅力）を考えるために必要な情報を集めるために、主体的に調べたり、地域や関係機関に働きかけたりしている。 (観察・ワークシートの記述)
	4 調べたことをもとに考えよう ○集めた情報（メモ・写真）を整理する。	【課題を解決する力】 【学び方やものの考え方】 【主体的・創造的态度】 集めた情報をもとに、まちのよさ（魅力）について、必要なものを選ぼうとしている。 (観察・ワークシートの記述)

	<p>5 まちのよさ（魅力）をまとめ・伝えよう。</p> <p>○見つけた・気づいた・感じた・思ったことをもとに、まちのよさ（魅力）について、グループで考えをまとめること。「木古内のここがすごい！」</p> <p>○集めた情報（メモ・写真）を使って、木古内のまちのよさ（魅力）を紹介する、と想定し、どんな内容にするかグループで話し合う。</p> <p>○まちのよさ（魅力）の交流会を行う。</p> <p>○木古内のまちのよさ（魅力） →木古内はどんなまちだろう？を考える。</p>	<p>【課題を解決する力】</p> <p>【学び方やものの考え方】</p> <p>【主体的・創造的態度】</p> <p>集めた情報をもとに、まちのよさ（魅力）について、分かりやすくまとめ・表すために、進んで考えを出している。（観察）</p>
3 次 3 時 間	<p>6 学習をふりかえろう。</p> <p>○「もっと知りたい」を考える。 ～自分たちの学習をふりかえって ～友だちの発表を見て</p> <p>○学習をふりかえって、自分たちの学びのよさ・成長を見つけよう。</p>	<p>【自分の生き方】</p> <p>これまでの学習をふりかえり、まちのよさ（魅力）や、そこにかかわる人たちの思いについて、自分の考えをもつことができる。（観察・ワークシートの記述）</p> <p>この単元の学習の前後でできるようになったことをまとめる。（観察・ワークシートの記述）</p>

#### 4 本時の学習について

##### （1）本時の目標

- ・見つけたまちのよさ（魅力）について、集めた情報（メモ・写真）をもとに、発表の内容を考えることができる。

##### （2）本時の展開

段階	○児童の学習活動	◆指導上の留意点 ◇評価
導入	<p>○これまでの学習をふりかえる。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>◆各種の掲示や写真をもとに想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会「まちたんけん」の地図</li> <li>・これまでの学習の経過</li> <li>・観光協会「見どころマップ」</li> <li>・町内各所の写真などを掲示しておく。</li> </ul> <p>◆これまで集めた情報（メモ・写真）をもとに、考えることを確認させる。</p>
展開	<p>○（個人）自分が集めた情報を確認する。</p> <p>○（グループ）互いの情報を見せ合い、どんな内容を入れるかを話し合い、まとめていく。 ※予想されるグループ 「道の駅」「木古内の祭り」「木古内の食べ物（名産品）」「乗りもの（新幹線・いさりび鉄道・道南トロッコ鉄道）」「キーコ（木古内町公式キャラクター）」</p> <p>○グループごとに考えた内容を交流する。</p>	<p>◆集めた情報（メモ・写真）から、発表に入れようと考えているものを確認させる。</p> <p>◆まちのよさ（魅力）についての自分たちの考えを、2年生に分かりやすく伝える、の視点でまとめていくよう促す。</p> <p>◇これまで集めた情報をもとに、まちのよさ（魅力）について、分かりやすい発表のため進んで考えを出しているか。（観察・発言）</p> <p>◆児童のグループを大まかに2つに分け、それぞれに考えた発表の内容について、意見を交換させる。</p>

終 末	○本時の学習をふりかえる。	◇分かりやすい発表の内容にするために考え ことができたか。(ワークシート)
--------	---------------	--

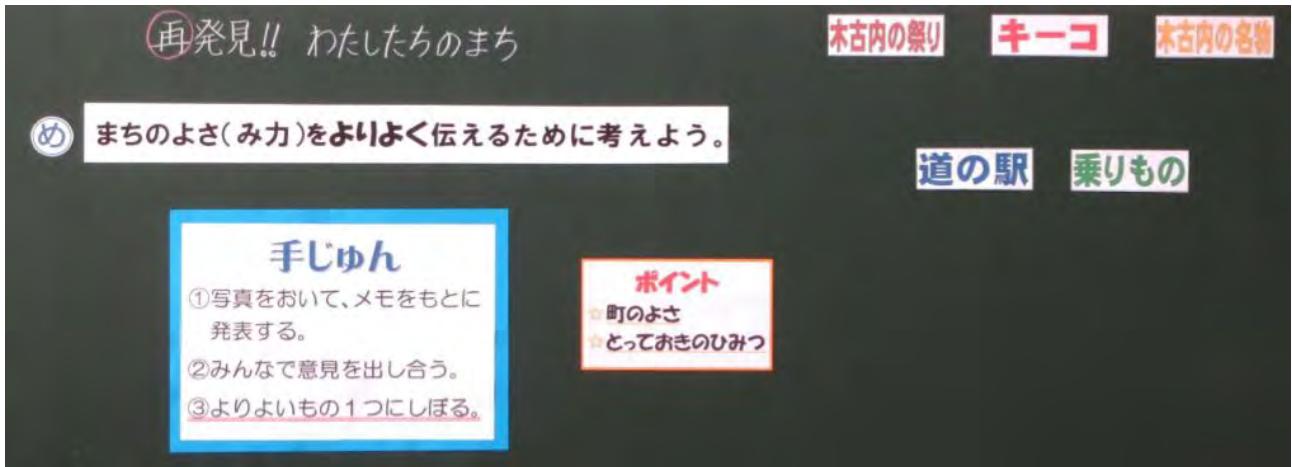
### (3) 本時の評価

- ・ まちのよさ（魅力）について、集めた情報をもとに、発表の内容を考えることができたか。

### (4) 準備

- ・ 写真（児童撮影～印刷したもの）
- ・ ワークシート～取材メモ・ふり返り
- ・ 学習経過を想起できる掲示類

### ◎ 板書計画



### ◎ 本時のワークシート

- ・ これまで集めた情報（写真）をもとに  
「とっておき」をメモしているもの。

総合的な学習の時間(3年)「再発見!!、わたしたちのまち」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

④木古内のまちのよさ(自慢)って何だろう？

「こればとっておき！」」「2年生に教えたいい！」  
～貰た・貰いた・貰った情報から遊び出そう。～

◎自分たちの課題(「もっと知りたい！」「調べたい！」)～グループは？

A 道の駅 B 木古内の祭り C 木古内の名物 D 乗りもの E キーコ

●この情報に関する写真は… \_\_\_\_\_

- ・ 本時のふり返りに使用するもの。

総合的な学習の時間(3年)「再発見!!、わたしたちのまち」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

⑤木古内のまちのよさ(自慢)って何だろう？

今日の学習をふりかえろう。

①自分の考え・思いをしっかりと伝えることができましたか。(A・B・C・D)  
②友だちの考え・思いをしっかりと聞くことができましたか。(A・B・C・D)  
まちのよさ(魅力)を  
③よりよく伝えるために考えることができましたか。(A・B・C・D)

\_\_\_\_\_

## (1) これまでの取組

渡島生活科・総合的な学習教育研究会は、生活科・総合的な学習の時間、それぞれにおいて授業づくりや公開授業を実施し、研究実践を深めるとともに、函館の研究会と様々な形で連携し、研究の輪を広げてきた。渡島地区では、自ら学びの世界を拡げ、よりよい自分を創る子どもを目指して、「体験」「交流」「協同」「表現」を探究的な学習過程に適切に位置付け、関連付けるとともに、「ひと・もの・こと」に対して、自ら関わりを広げ、学びを豊かにする教師の支援の在り方について、授業実践の中で検証してきた。

### 《視点1》◎ 自ら関わりを広げる学習指導の工夫

- ・ 「体験」「交流」「協同」「表現」を位置付けた学習過程の授業実践。

### 《視点2》◎ 学びを豊かにする教師の支援の在り方

- ・ 子どもたちが自発的に取り組む探究的な学習活動。

これらの研究を進めたことで、子どもたちが活動を通して得た気付きや学びを伝え合い、よりよい活動の方法や方向に気付く力を育成することができた。しかしながら、課題の解決によって、探究的な活動が完結してしまうことも多く、子どもたち自身が学びをスパイラル的に発展させながら展開することが難しいという課題が残った。今後は、これまでの研究を確かなものとし、子ども自身による知的な営みが連続的につながり、相互に関連し合いながら、発展的に繰り返されていく探究的な学習活動となるように、教師の在り方についてさらに研究を深めていく。

身の回りの「ひと」「もの」「こと」とかかわりながら、木古内のまち（地域）のよさ（魅力）について、課題を設定し、その解決に向けて取り組む活動を通して、自分たちの住むまち（地域）に関心をもち、よりよい姿について考えることを目標としている。

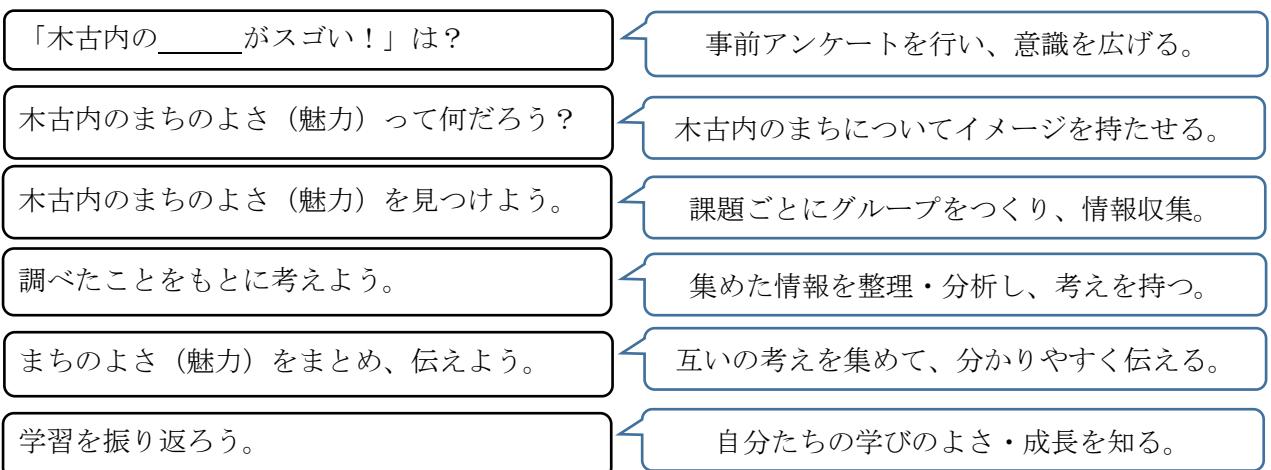
指導に当たっては3つの視点を持って行う。

【視点1】追求の必然性を生む課題を設定する。

【視点2】深まりを実感できる交流の場を設定する。

【視点3】自己の高まりを実感できる振り返りの場を設定する。

単元構成を以下に示す。



## (4) 授業記録

研究主題 自ら学び、伝え合い、共に高まろうとする子どもの育成

－全教科・領域における「主体的、対話的、深い学び」について－

研究仮設 共に高め合う交流の場を構成することによって、自ら学び、考えを深めていける子どもを育成することができるであろう。

### 視点1 追及の必然性を生む課題を設定する。

自分の考えをもつことは、他者と学び合う上で価値判断の基準になる。様々な課題に対して、これまでの経験や知識などをもとに判断し、考えることになるが、最も重視したいのは、子どもが自ら学びたいと考える課題を設定することである。

そこで、これまでの社会科と国語科の学習から発展させ、2年生に木古内のまちのよさを教えよう

という課題を設定した。さらに2年生から3年生でレベルアップした学習となるように、2年生が知らないような、とておきの秘密を教えようという意識を持たせることで、授業の意欲を高め、主体的な内容とし、発表の内容を考えることができるようとした。

## 視点2 深まりを実感できる交流の場を設定する。

自分の考えを発信し、他者との意見交流を通して、自分の考えを様々な視点から見つめ直すことができるような交流の場を設定する。

個人的に考えたり、小グループで考えたりする場を設定し、グループ内で、まず自分の意見をしっかりと持ち、交流や対話をするように進めてきた。

## 視点3 自己の高まりを実感できるふりかえりの場を設定する。

他者の多様な考え方方に触れ、自分を振り返って成長したり、これから課題や目標を見付けたりする場を設定する。

終末に振り返りの時間を設定し、自分の考え方や自分とは違う考え方方に触れることで、多様な見方や考え方方に気付くことを、3年生段階の学習の深まりと考えている。また、学んだことを基に、地域への愛着を深めること、社会科の昔の道具と暮らしなどの教科へつなげていくようにする。さらに、振り返りの中で、自分の思いや考えをいろいろな表現を使って、伝えることが出来たかを自己評価とする。そして、グループ内で協同することの大切さにも気付かせたい。

### ○ 成果と課題

- ・ 子どもたちは、自分の思いをしっかりと持ち、活発に意見を交流していた。
- ・ 子どもたちは、集中して教師の発問を聴き、教師は、課題の提示の仕方など、工夫していた。課題の設定する視点は、有効であった。
- ・ 写真とメモをもとに、交流していく手立ては、子どもたちの集中を促し、話し合いを活発にさせていた。
- ・ 2年生へ向けて伝えたい木古内町の「とておきの秘密」を決めていく際、選択する内容が多すぎたり、基準が曖昧だったりしたように思う。そのため、子どもたちが考えをまとめる活動に時間がかかっていた。
- ・ 子どもたちは、伝える内容を決めるときに視点が向かってしまい、選んだ思いなど、多様な見方や考え方方に気付かせる視点が薄まってしまったように思う。選んだことを決め合うよりも、他者の考えを認め合う、子どもの思いや願いを交流するような展開を大切にしたい。

### ○ まとめ

子どもたちが主体的になるよう、自分たちで見つけた内容を大切にしていた。子どもの思いや願いをもとに、活動を膨らませ、話し合う場を設定していた。その際、子どもたちが自分で撮影した写真を用意したり、自信を持って交流できるようにメモを用意したりすることで、集中して話し合いに参加していた。今後も、子どもたちが発見した喜びや思いを大切にした授業展開を期待したい。

#### ひと・もの・こと

- 1年 自然  
2年 道の駅  
3年 まちの魅力  
4年  
5年 客観的視点  
6年 キャリア  
どんな大人になつてほしいか  
中学・高校は  
他地区へ

「〇〇なまち・木古内」  
愛着をもつ子 よさを〇〇  
木古内っていいまち  
もっと知りたい！！木古内の価値

新幹線・和牛・咸臨丸・みそぎ・芝桜・公園  
地域行事・観光・祭り・介護・福祉・道の駅  
伝統・農業・ふるさとのもり・駅弁・鶴岡地区

体験  
交流  
協同  
表現

木古内町内全体に  
目を向けよう

- (1次) 子どもの意識アンケート  
(2次) それぞれの「〇〇な木古内」を調べる  
写真・グラフ・言葉

※他教科との関連・他地域への発表・グループ